

課題名	なし品種比較試験								
成果の要約	長寿は熟期が早いものの、品質的には新水が優れていた。多摩は品質は良好であったが、着色にムラがあり、小果であった。								
成績概要	<p>(1) 早生系の新水、幸水、長寿および多摩では、収穫期は長寿、新水、多摩、幸水の順に早かった。果実品質では果実重で幸水、糖度で新水が最も優れていた。</p> <p>(2) 中～晩生種では収穫期は豊水、二十世紀、菊水、新星、新高、晩三吉の順であった。果実品質では果実重で新高が最も大きく、糖度は菊水が最も高く、二十世紀が最も低かった。</p> <p>第1表 果実品質調査</p>								
	項目 品種名	調査 月日	果実重	横 径	従 径	果肉 硬度	糖度	pH	所 見
		(月日)	(g)	(mm)	(mm)	(Kg)			
	新 水	8. 8	2656	82.1	65.9	3.6	14.1	4.9	糖度が高く、肉質も良好。
	幸 水	8.17	308.1	85.1	70.3	3.8	13.0	5.3	肉質が軟らかく、多汁、玉揃いがやや不良。
	長 寿	8. 3	2480	80.6	63.6	4.2	12.0	5.2	玉揃いはよく多汁で食味良好 肉質やや粗い。
	多 摩	8. 8	2373	78.4	64.6	4.6	13.4	5.0	着色にムラがあり、ていあ部に青みが残る肉質はち密、小玉
	豊 水	8.28	3725	89.7	79.0	3.7	12.7	4.7	肉質が軟らかく、甘み・酸味ともあり濃厚、玉揃いやや不良。
	二十世紀	9. 7	3195	86.3	72.7	4.5	11.2	4.7	変形果がやや多い。
	新 高	10. 1	5622	103.7	93.6	4.9	11.9	5.1	肉質はやや粗いが多汁で食味良好、酸味が少ないのでやや淡白な感じ。
新 星	9.18	3303	87.2	85.0	4.0	12.5	5.0	果実は豊水より小さいが肉質良好で甘み多く多汁、果形は縦長。	
菊 水	9. 7	2915	84.9	68.6	4.4	12.7	4.7	糖度高い、二十世紀より偏平。	
(昭59 長崎県試)									
普及上の留意点	長寿は日持が悪いといわれているので、特に収穫がおくれないようにする。								